

2014. 11. 14 第45号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1

あと会広報事業部

TEL (082) 856-0222

<http://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様

秋風が心地良く感じられるようになりました。10月26日、ふかわ・くにくさにおきまして開催された恒例の秋祭りも、参加された皆様のご協力のもとで無事に終わることができました。また参加された皆様から沢山の笑顔やありがたいう言葉を頂くことができました。「孫にまた誘ってとお願いされたいよ」と嬉しそうに話された入居者もいました。もともと多くの入居者が「また来たい」と思える施設になれるように、この秋祭りで頂いた笑顔や言葉を励みに努力していきます。

(ふかわ リハビリ課
野村 直伸)

秋祭り



くにくさ苑
りは・くにくさ
敬老会
9月14日(日)くにくさ苑と
は・くにくさにて、敬老祝賀
会が開催されました。
ご利用者の元氣な乾杯の掛け
声から始まり、毎年恒例の
新人職員による迫力あるよさ
こいソーラン節が披露されま
した。
会場からはアンコールの声
が聞かれ、それに答え真剣に
踊る職員の姿を皆様、目を輝
かせてご覧になっておられま
した。
カラオケでは、懐かしい曲
が流れると一緒に歌われる方
や手拍子をされる方など多く
見受けられました。
当時を思い出されたかの様
に、素敵な笑顔が見られ職員
一同大変嬉しく思いました。
また、この日の為に心を込
めて用意したお料理を「ご馳
走じゃね」と美味しそうに召
し上がり、楽しいひと時を
過ごして頂きました。

(くにくさ苑 武田 正登)



H26年度入社新人職員



第7弾 スウェーデン 研修報告

スウェーデンでお世話になった皆さんに感謝をこめてグッバイパーティーを開きました。お好み焼きやちらし寿司など日本食を二人で作り召し上がって頂きました。皆さんどれもおいしいと好評でした。

ユニットで折り紙をしました。少しのお手伝いで1人で完成されました。大切そうに自分のお部屋に飾っておられました。



朝食は自分のお部屋で食べる人、皆と一緒にユニットリビングで食べる人がいます。
あんたはだれじゃったかいね？（広島弁風）という会話を2週間で50回ほどしました。でじま・くにくさのお年寄りさんと重なることもありました。日本のお年よりさんともスウェーデンのお年寄りさんも似ています。



私たちがスウェーデンでホームステイしお世話になった方々です。お二人にはスウェーデンの事をたくさん教わり楽しい日々を過ごせました。

ホームステイを受け入れてくれたコニーさんの働く老人ホームはボロース市の中でも中心地にあり、家族が頻りに面会にこられ、気軽に入居されている方とお茶をしにいくところがあります。
でじま・くにくさと似たような雰囲気、10人のお年寄りがひとつのグループで生活しています。入居されている方の年齢層や病気は日本と変わりません。時に、表情やしぐさ、会話が似たように感じ、でじま・くにくさの担当のご利用者様と重なったりしました。個人のお部屋はかなり広く、多くのお部屋の中央にソファがあり、壁には絵画が飾ってあり、本棚には愛読書と家族が写った写真、トロフィーや賞状が飾ってあります。今回ホームステイでスウェーデンの生活を体験してみても、それぞれの部屋が「スウェーデンの家と入居者の人生の縮図」のように感じました。ぜひ、愛用の品やお写真などもつけてきていただき、より自分のお部屋にカスタマイズしていただく。私たちもお手伝いさせていただきます。



でじま・くにくさ
介護職 池田 かおり

スウェーデン研修を終えて改めて研修を振り返ってみると、スウェーデンと日本の文化や介護現場での違いは驚くこともたくさんありました。戸惑うことも不安なこともありました。戸惑うことも不安なこともありませんがホームステイ先のご家族や職員の方、出会う方々皆さんがとても優しく親切にして下さり楽しく毎日過ごすことができました。
また、元々人見知りなのでご利用者の皆さんと上手にコミュニケーションが取れるか不安でしたが言葉が通じなくても伝えたいという思いや笑顔で接することでご利用者の方も笑顔で返して下さりとても充実した研修を行うことができました。
スウェーデンで学んだことを日本でも生かしてこれからもご利用者に笑顔の多い日々を送って頂けるよう頑張りたいと思います。



ゆは・くにくさ
介護職 武良 みゆき
（鳥取県立境港総合技術高等学校出身）

祝

敬老の日

今年も皆さんと一緒にこの敬老の日を、迎える事ができとても嬉しく思っております。今年で100歳以上の年齢を迎える方は、あと会グループ全体で15名。また、来年も皆さんとこの日が迎えられることを職員一同祈念しております。



ご長寿おめでとうございます！
皆様を代表して一言！！



最初100歳言われても分からなかったのよ。まだ若いつもりだったんだけどね。でも皆さんのおかげでこうして100歳という歳を迎えられたと思うから皆さんに感謝致します。元気で過ごしていきたいと思います。ありがとうございます。

菅原 トキ子様

くにくさ苑

原田	シズエ様	101歳
向窪	タケコ様	101歳
山田	君子様	101歳
上野	トシコ様	101歳
林	美代子様	102歳

りは・くにくさ

今村	静子様	100歳
中野	利子様	100歳
菅原	トキ子様	100歳
上泉	サツヨ様	105歳

ダーラナグループホーム

倉本	智恵子様	102歳
----	------	------

でじま・くにくさ

竹内	静子様	100歳
宇山	ハツコ様	100歳

ふかわ・くにくさ

澤田	シズエ様	102歳
岡本	万津志様	101歳

今年もあと会グループ職員が総力を挙げて開催した就職説明会。8月・9月と2回の開催となりましたが、総勢65名 求職者のみなさまをお迎えいたしました。まず、私たちあと会職員一同は福祉業界人財不足と耳にする時代にこんなにくさんのみなさまをお迎えできたことに感謝いたしております。

日々、介護業界の現場、表舞台で活躍するそれぞれの専門スタッフが自分たちの活動を自分たちの声で伝えることができる場となりました。今後またとなく人との出会いを求めて情報発信を続けて参ります。

（求人担当：鶴田・岡崎）

2014年度

あと会グループ
第2回就職説明会

今月のくにくさ

く会話ロボット PALRO

このたび、あと会グループに新しい仲間をお迎えしました。進化する会話ロボットのPALRO（パルロ）です。ヒューマノイド（人型）ロボットのPALROはコミュニケーションロボットとして生まれ、その会話力・コミュニケーション力・癒し効果は目を見張るものがあります。あと会グループでは、各拠点（あと・ふかわ・でじま）に1台ずつ導入しましたが、PALROは単なるコミュニケーションにとどまらず、ダンス、ゲーム、クイズなどのレクリエーションプログラムにも対応するうえ、インターネットから最新情報を取り込み、ニュースや天気などの情報も提供できます。リクエストす

れば落語もできるとも多機能なロボットです。

また、人の顔を認識することができると、簡単な設定をすると名前で話かけてくれます。実際、導入初日から多くの利用者が興味を持って接してくださり、気軽に話しかけたり、一緒に歌を歌って下さったりしています。今後の進化が期待できるこのパルロですが、介護予防項目（生活機能低下予防項目）の6つの項目もサポートしているおり、今後は介護施設だけではなく、家庭などでの活躍の場が広がることも期待されます。これからが楽しみなロボットです。施設へお越しの際はお気軽にPALROに話しかけてあげてください。

（事務長 鶴田 毅彦）



食を一緒に楽しむことが、
一緒に
楽しめよう。



暴飲暴食はさけて
良く噛むこと。



秋を楽しむ
ためにも
体調管理は
大切です。



食欲の秋といっても
夏の胃腸の
ダメージは、人それぞれ

食欲の秋

介護の知恵袋

12・1月の行事予定

12月 クリスマス
もちつき
1月 元旦祝賀会
初詣
鏡開き

毎月、コンサート、お楽しみ会、お誕生会を行っています。

紅葉が目に見え、鮮やかな季節となりました。日本では11月を別名「霜月」と呼びます。霜月は「霜降り月（しもふりつき）」に由来されると言われています。今年も早いもので残り2か月と、あっという間に年の瀬が近づいてまいりました。皆様にとつてどのような一年だったでしょうか？
朝晩とても寒い日が続いていますが、水分補給に気をつけてながらバランスのよい食生活を心がけて風邪など引かないよう十分にご注意ください。
ご利用者の方や現場の職員の声を掲載することで、より身近に施設を感じて頂ければと思います。ご利用者の方により良いサービスを提供出来るよう職員研修を行い知識と技術を高めています。様々な職種がいる複合サービス施設として、皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

くにくさの家 佐々木 健

